

調 査 件 名 : (仮称) 白川統合小学校地盤調査

調 査 場 所 : 岐阜県大野郡白川村飯島地内 (案内図参照)

調 査 目 的 : 調査地に於ける地質及び地盤の構成を知りここに計画
される建造物に対し、基礎構造設計の参考資料とする
ことを目的とした。

調 査 期 間 : 平成20年9月17日 ~ 平成20年10月1日

調 査 内 容 : 標準貫入試験併用試錐

B-1 -10m

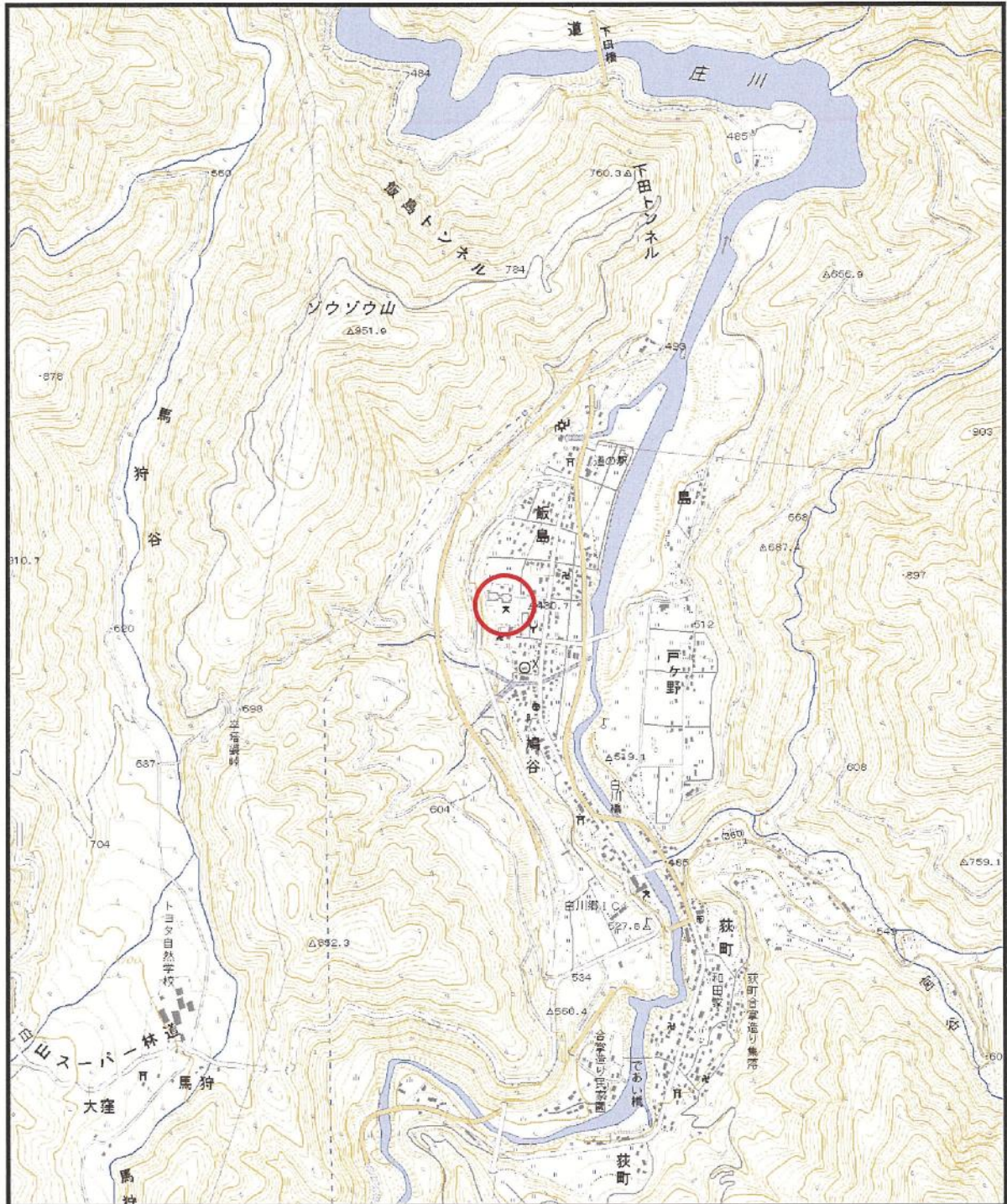
B-2 -10m

B-3 -10m

調査地案内図

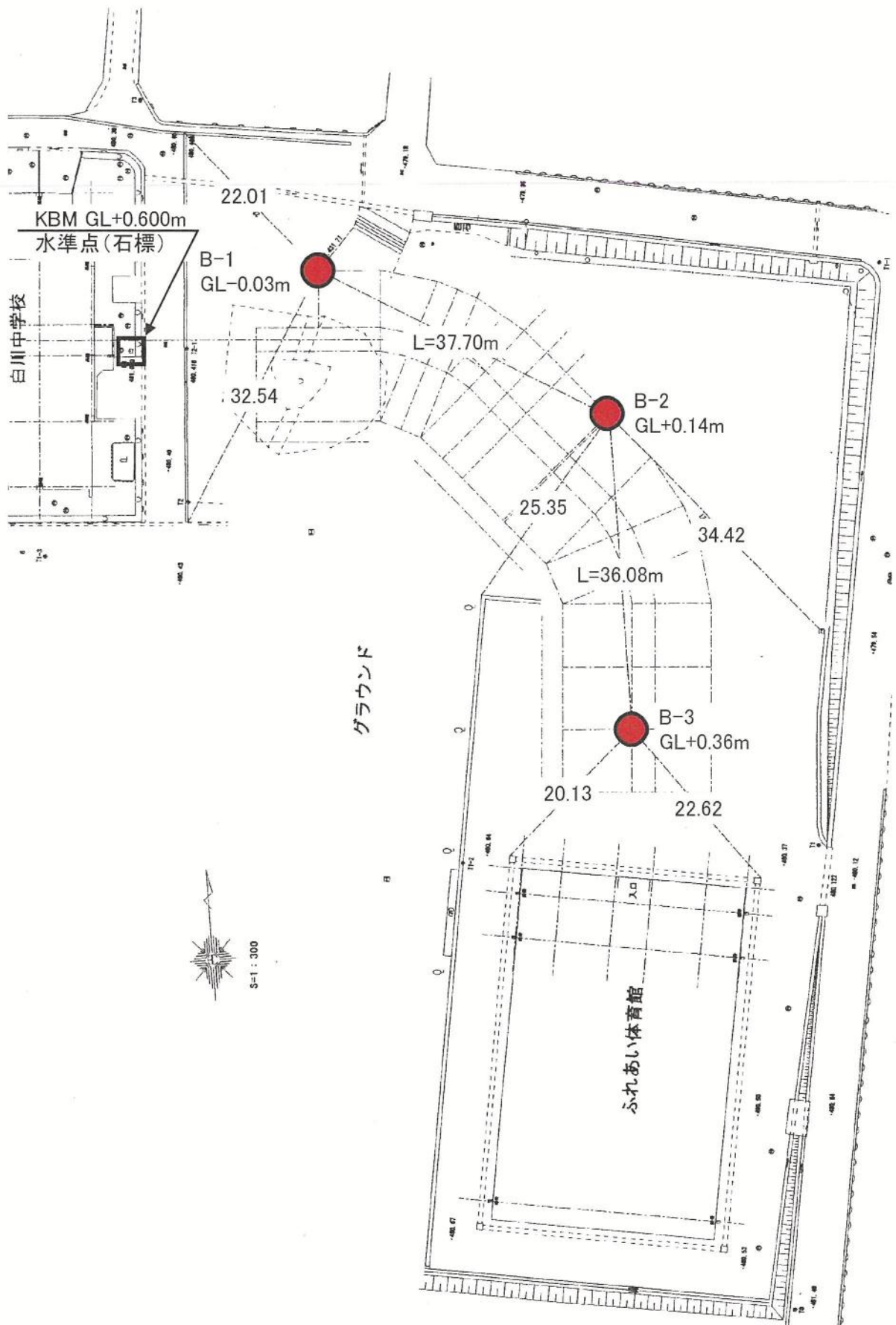
岐阜県大野郡白川村飯島地内

○…調査地



この地図は、国土地理院発行の「1 : 25, 000 地形図」を使用したものである。

調査地点位置図



名 事 業

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記事
1	-1.78 1.75	1.75	(斜線)	盛土	暗灰			地表面0.05mまでは団塊田の砂利、砂利はφ5~30mmの角礫主で深、露頭上でφ2~30mmの角礫主体、非常に良く締まっている。 GL-1.30m付近に深、細粒分が多くなる。
2			(点線)	砂質シルト	暗褐色青灰			砂は細砂〜粗砂と含水中位。GL-2.10m付近から砂分が少なくなると同時に粘着性も減少し、色調が暗灰色〜黒灰色に変化。 GL-3.10m付近から砂分が微細砂主体、色調が暗灰〜青灰に変化。 含水大位。
3			(点線)	粘土質シルト	暗灰			粒径φ2~200mmの円礫主体、外周を長さ80mm以上の石が混入。 含水大位。
4	-4.13 2.35	4.10	(点線)	風化石	暗灰			用結した砂質シルト状の風化石。現場には粗砂状態で、マトリックスはシルトである。 指で容易に解れる。 含水中位。 GL-9.00m付近は粘性強く、色調が白灰に緑灰及び黄の斑点あり。
5	-5.33 1.20	5.30	(点線)	風化石	暗灰			
6			(点線)	風化石	暗灰			
7			(点線)	風化石	暗灰			
8			(点線)	風化石	暗灰			
9			(点線)	風化石	暗灰			
10	-10.09 4.76	10.06	(点線)	風化石	暗灰			
11			(点線)	風化石	暗灰			
12			(点線)	風化石	暗灰			
13			(点線)	風化石	暗灰			
14			(点線)	風化石	暗灰			
15			(点線)	風化石	暗灰			

ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 白川統合小学校地盤調査

名
事
工
業
事

ボーリング名	B-2	調査位置	岐阜県大野郡白川村飯島地内	北緯36°16'25.5"
発注機関		調査期間	平成20年9月23日～20年9月27日	東経136°53'54.8"
孔口標高	GL +0.14m	方位角		自動落下
総掘進長	10.06m	使用機械	TOHO D0-DR	ハンマー落下用具
		地盤勾配	鉛直 0°	ポンプ
		方向		TOHO BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対比	相対密度	記事	孔内水位 (m)	深度 (m)	10cmごとの打撃回数	貫入量 (cm)	原位置試験結果	試験採取方法	室内試験 (月)		
1	-1.88	2.00	2.00		盛土	明灰		地表面より25cmまではゲートボール場用の山砂 (黄褐色) の砂が少量混入している。山砂は細砂〜粗砂で、シルト分が少くない。土質を解して観察すると、土質が硬く、シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		1.15	6	7	5	18	31		
2	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		1.46	2	1	1	1	3	35	
3	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		2.50	1	1	1	1	3	35	
4	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		3.15	0	0	0	0	1	30	
5	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		3.45	15	20	21	56	30	56	
6	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		4.45	36	24	9	19	45	95	
7	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		5.05	16	20	15	51	30	51	
8	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		5.24	16	20	15	51	30	51	
9	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		6.15	43	17	6	100	100	100	
10	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		6.45	37	23	6	106	106	106	
11	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		7.15	8	18	100	100	100	100	
12	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		7.33	37	23	6	106	106	106	
13	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		8.15	37	23	6	106	106	106	
14	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		8.32	60	60	6	300	300	300	
15	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		9.00	60	60	6	300	300	300	
16	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		9.06	60	60	6	300	300	300	
17	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		10.00	60	60	6	300	300	300	
18	-3.71	1.85	3.85		砂質シルト	黄褐色		Gl-3.0m付近まで砂分がやや多い。シルト分が少なく、山砂の角縁が鋭い。花崗岩系の角縁が2〜200mmが多く混入している。		10.06	60	60	6	300			

ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 白川統合小学校地盤調査

名
工
事
業
事

ボーリング名	B-3	調査位置	岐阜県大野郡白川村飯島地内		北緯	36° 16' 25.5"
発注機関			調査期間	平成 20年 9月 17日 ～ 20年 9月 20日	東経	136° 53' 54.8"
孔口標高	GL +0.35m	方角	地盤勾配	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘進長	10.16m	180° 上 90° 下 0°	北 0° 270° 西 東 180° 南			自動落下
		度		エンジン		TOHO BG-3C
				YANMAR NFD-10		

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質区分	色相対度	相対稠固度	記	孔内水位	標準貫入試験				原位置試験		試験採取	室内試験	進捗	
(m)	(m)	(m)	(m)	図		調度		事	／測定月日	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量	深さ	試験名および結果	試験採取	度	番号	月日	
1	-1.24	1.60	1.60		盛土	明灰		地表部0.05mはアスファルト舗装、GI-0.40mまでは砕石（弱塩材）。以下、角礫を含んだ砂質土。	9/20 1/15	9 11 5 11	25 30	25							
2	-2.38	1.15	2.75		砂質シルト	暗灰～ 黒灰		上部は旧耕作土（旧地盤）と思われる。 GI-1.80mにて色調が暗灰～黒灰に変化。	9/20 1/15	1 11 1 8	31 60	3							
3								GI-3.00m付近まで最大コア長75mmの玉石が混入。 GI-4.00m付近まで最大コア長125mmの玉石が混入。 GI-5.00m付近まで最大コア長330mmの玉石が混入。 GI-6.00m付近まで最大コア長100mmの玉石が混入。 GI-7.40m付近まで最大コア長250mmの玉石が混入。 GI-7.40m付近まで最大コア長180mmの玉石が混入。 線が通らずで円盤である。 含水率～六分。	9/20 1/15	7 20 33	60 30	60							
4					玉石混じり砂礫	暗灰				4.45 6.02	60 2	900							
5										32 7.00	60 11	164							
6	-7.04	4.65	7.40							7.11	15	120							
7										8.05	60	9							
8										8.30	60	9							
9										9.05	60	9							
10	-9.81	2.76	10.16		風化岩	帯青白		GI-8.00m付近は良く締まっているが、外周から崩壊を与えると細かくボロボロと型崩れする。 GI-9.00m付近は水分を多く含み、指で押さえると跡が残る。良く締まっ ており、指で押さえると硬い。	9/20 1/15	52 8	60 11	164							
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			